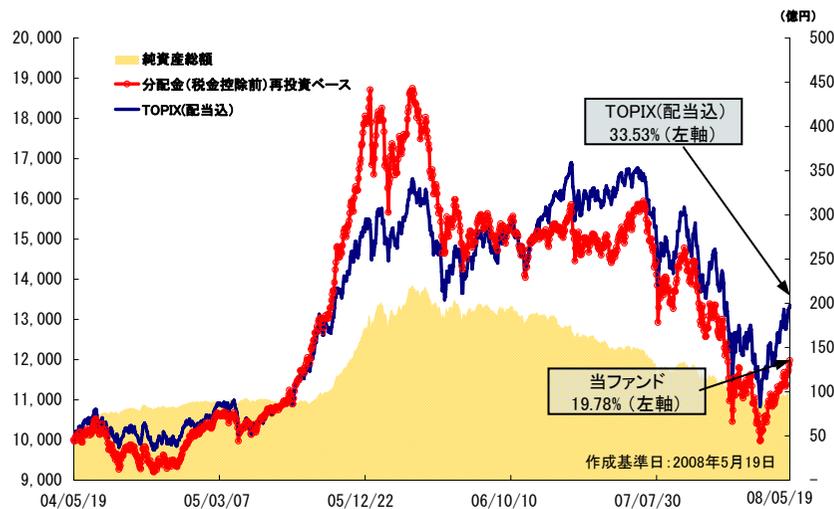


スパークス・ジャパン・オープン 第4期決算速報

収益分配金:0円(1万口当り、課税前)

▶ 第4期: 2007年5月22日～2008年5月19日

* 2004年5月19日(設定日前日)を10,000としたときの当ファンドの基準価額TOPIX(配当込)の推移



※当ファンドはTOPIX(配当込)をベンチマークとするものではありません。したがって、TOPIX(配当込)に連動するものではありません。決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

	第1期 (05年5月)	第2期 (06年5月)	第3期 (07年5月)	第4期 (08年5月)
分配金落ち後 基準価額(円)	10,268	15,644	13,534	11,204
分配金(円)	50	1,000	0	0
純資産残高 (億円)	89.7	195.2	149.0	100.4

	スパークス・ ジャパン・オープン	TOPIX(配当込)
過去1ヵ月	7.34%	7.68%
過去3ヵ月	4.34%	5.38%
過去6ヵ月	-5.86%	-2.60%
過去1年	-17.22%	-16.56%
設定来	19.78%	33.53%

・ 分配方針についてのコメント

当ファンドの特色は、時価総額や業種等の制約を設けず、徹底的なボトムアップ・アプローチにより、中長期的に企業価値を高めることが可能と思われる企業に積極的に投資を行うことです。弊社では、原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。今期は残念ながら値上がり益がなかったため分配金は見送らせていただくことになりました。

・ 当期の運用環境

期初においては、欧米の株式市場が上昇し、NYダウが史上最高値を更新する中、日本市場は一部の好業績銘柄の株価が大きく反発するも、新興市場の株価が伸び悩み、全体的に冴えない展開が続きました。中には米国サブプライムローン問題による実体経済への悪影響が徐々に顕在化し、世界同時株安の様相を呈し、日本株式市場も大きく下落致しました。期末にかけて、上昇に転じてきたものの、不透明感の残る相場環境となっております。

・ 運用経過及び実績

当ファンドは、前期末比-16.56%下落した同期間のTOPIX(配当込)よりも大きく下げ、前期末比-17.22%の下落となりました。パフォーマンスに貢献した主な銘柄は、新興国の成長や商品市況の上昇の恩恵を受けた三菱商事、パチンコのSANKYO、半導体大手のエルピーダメモリでした。一方、石炭、鉄鉱石価格が想定以上に急騰し業績動向に不透明感が出た太平工業、サブプライムローンの影響を受けたみずほフィナンシャルグループ、調剤薬局向けシステムの販売が軟調に推移し、通期の会社業績予想を引き下げたEMシステムズなど、主に素材高・サブプライムローン問題に関連した銘柄がパフォーマンスに悪影響を与えました。

・ 今後の方針

経済の実態としては未だ不透明であり、雇用の悪化、原油を中心とした原材料価格の高騰等が消費に大きくマイナスに影響する可能性については引き続き注視する必要があると考えております。一方、2008年3月期の決算の状況、及び2009年3月期の業績予想から判断すると、このように外部環境が悪化する中でも、業績拡大を見込める企業が一部散見されます。そのような企業を積極的に発掘し、特に新興国の自律的な成長の恩恵を受ける企業、世界的な問題意識が高まりつつある環境関連企業、中期的に成長が期待できる銘柄、円高により過度に売られた銘柄等を中心に銘柄選択をまいります。従来にも増して企業のファンダメンタルズ調査の成否がパフォーマンスを左右すると考えており、引き続き徹底した調査に全力を尽くし、パフォーマンスの向上を図ってまいります。

スパークス・ジャパン・オープン(「当ファンド」)は、実質的に当ファンドと同一の運用方針を有する親投資信託である「スパークス・日本株式・マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます)の受益証券を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式による運用を行います。ファミリーファンド方式とは、投資家からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資して実質的な運用を行なう仕組みです。ただし、ベビーファンドである当ファンドから直接有価証券等に投資することもあります。また、上記は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。当ファンドは、株式および公社債などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。当資料は当ファンドの運用状況を開示するものであり、証券の勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金は、課税前の金額です。当ファンドの取得のお申し込みを販売会社にて行う場合には、目論見書をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。

お申込みメモ

(お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

ファンド名	スパークス・ジャパン・オープン
商品分類	追加型株式投資信託／国内株式型(一般型)／分配金再投資可能
信託期間	平成16年5月20日から平成26年5月19日
繰上償還	残高口数が20億口を下回るようになった場合などには約款所定の手続きを経たうえで、信託期間の途中で信託を終了(繰上償還)させていただくことがあります。また、委託会社は信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときには、受託会社と協議の上、信託期間を延長することができます。
決算日	毎年5月19日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 (分配金再投資コース)収益分配金は、税引き後、無手数料で自動的に再投資されます。 (分配金受取りコース)収益分配金は、原則、決算日から起算して5営業日目までに支払われます。
お申込み時間	みずほ銀行の本・支店等で毎営業日お申込みいただけます。原則として、お申込み時間は、午後3時までです。 (わが国の株式市場が半日営業日の場合は午前11時まで)当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込み単位	(分配金再投資コース)1万円以上1円単位 (分配金受取りコース)1万円以上1円単位
お申込み価額	お申込み受付日の基準価額
解約のご請求	販売会社の毎営業日に1口単位で解約を請求することができます。お申込み時間は、午後3時までです。 (わが国の株式市場が半日営業日の場合は午前11時まで)当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。 ※1顧客1日当たりの解約の金額に制限を設ける場合や一定の金額を超える解約の請求の受付時間に制限を設ける場合があります。わが国の金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止させていただく場合があります。
解約価額	解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
解約代金の受渡日	解約受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

スパークス・ジャパン・オープン(「当ファンド」)は、実質的に当ファンドと同一の運用方針を有する親投資信託である「スパークス・日本株式・マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます)の受益証券を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式による運用を行います。ファミリーファンド方式とは、投資家からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資して実質的な運用を行なう仕組みです。ただし、ベビーファンドである当ファンドから直接有価証券等に投資することもあります。また、上記は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。当ファンドは、株式および公社債などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。当資料は当ファンドの運用状況を開示するものであり、証券の勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金は、課税前の金額です。当ファンドの取得のお申し込みを販売会社にて行う場合には、目論見書をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。

費用について

(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

お客様にご負担いただく手数料等について

* 下記手数料等の合計額については、お申込み金額や保有期間 等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込み時】

■お申込み手数料

お申込みの金額に応じて、下記の手数料率を申込受付日の基準価額に乗じて得た金額とします。

ただし分配金の再投資により取得する口数については手数料はかかりません。

1,000万円未満	: 3.15%(税抜 3.0%)
1,000万円以上1億円未満	: 2.625%(税抜 2.5%)
1億円以上3億円未満	: 2.10%(税抜 2.0%)
3億円以上	: 1.575%(税抜 1.5%)

【ご解約時】

■信託財産留保額

解約請求受付日の基準価額に0.3%の率を乗じた金額

■解約手数料

なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬

純資産総額に対して年率1.974%(税抜1.88%)

■その他の費用等

(1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用[純資産総額に対上限年率0.105%(税込)]

(2) 有価証券売買時の売買委託手数料

* ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。

スパークス・ジャパン・オープン(「当ファンド」)は、実質的に当ファンドと同一の運用方針を有する親投資信託である「スパークス・日本株式・マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます)の受益証券を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式による運用を行います。ファミリーファンド方式とは、投資家からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資して実質的な運用を行なう仕組みです。ただし、ベビーファンドである当ファンドから直接有価証券等に投資することもあります。また、上記は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。当ファンドは、株式および公社債などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。当資料は当ファンドの運用状況を開示するものであり、証券の勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金は、課税前の金額です。当ファンドの取得のお申し込みを販売会社にて行う場合には、目論見書をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。

投資リスクについて

【主な投資対象】

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、株式および公社債などの値動きのある有価証券に投資し、有価証券先物取引などを活用することがありますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。

リスクの詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

(1) 株式投資リスク

当ファンドは、日本の株式を主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

(2) 中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。これらの株式は一般的に株式時価総額が小さく、流動性が低いため、流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

(3) 派生商品取引のリスク

当ファンドは先物取引などの派生商品に投資することがあります。これらの運用手法は、価格変動リスクを回避する目的等で用いられることがあります。実際の価格変動が委託会社の見通しと異なった場合に当ファンドが損失を被るリスクを伴います。

(4) 一部解約による資金流出等に伴うリスク

大量の解約があった場合、保有有価証券を売却しなければならないことがあります。その際には市場動向や取引量等の状況によって、基準価額が大きく変動することがあります。なお、同じマザーファンドに投資するベビーファンドの資金流出の影響を受ける場合があります。

(5) 運用制限に伴うリスク

当ファンドの運用は、規制上または社内方針等により売買を制限されることがあります。したがって、これらにより当ファンドの運用実績に影響を及ぼす可能性があります。

(6) その他のリスク

その他、予測が不可能な事態(天変地災、テロ行為等)が起きた場合、市場閉鎖や急激な市況変動が起こることがあります。このような場合、証券取引所等の取引停止等やむを得ない事情があるときは一時的に解約等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

スパークス・ジャパン・オープン(「当ファンド」)は、実質的に当ファンドと同一の運用方針を有する親投資信託である「スパークス・日本株式・マザーファンド」(以下「マザーファンド」といいます)の受益証券を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式による運用を行います。ファミリーファンド方式とは、投資家からの資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資して実質的な運用を行なう仕組みです。ただし、ベビーファンドである当ファンドから直接有価証券等に投資することもあります。また、上記は過去の実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。当ファンドは、株式および公社債などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。当資料は当ファンドの運用状況を開示するものであり、証券の勧誘を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの基準価額は信託報酬控除後のものです。分配金は、課税前の金額です。当ファンドの取得のお申し込みを販売会社にて行う場合には、目論見書をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、当社と言います）が情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。当社とその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。本資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。投資信託の取得のお申込みを行う場合には、投資信託説明書（目論見書）および目論見書補完書面をあらかじめお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細をご覧ください。

当社は、みずほ銀行のお客さまへ本資料に関してご説明を行うことがあります。あくまでお客さまへの情報提供が目的であり、当社による勧誘を目的としておりません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号

（加入協会）（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2

ゲートシティ大崎イーストタワー16階

PHONE:03-5435-8200 FAX:03-5435-8204